

第25回市民参加懇談会コアメンバー会議の結果について (座長報告)

平成18年11月14日

1. 開催日程

日時：平成18年10月16日(月) 15:00～17:00

会場：虎ノ門三井ビル2階 第1、2会議室

2. 議事概要

(1) 「市民参加懇談会in札幌」の開催結果について

札幌市で実施した市民参加懇談会について、概要、アンケート結果をもとに、コアメンバーのご意見を伺った。

- ・市民参加懇談会in札幌で、いただいたご意見への対応、運営方法に関する意見交換が行われた。
- ・参加者より頂いたご意見については、別添の通り原子力委員会に報告することとなった。

(2) 次回の市民参加懇談会の開催地候補について

次回の開催地及び内容について、以下の方向で開催を検討することとなった。

- ・開催地 : 島根県松江市
- ・開催日時 : 平成18年12月6日
- ・開催テーマ : 原子力～知りたい情報は届いていますか～
- ・プログラム :
 - 第1部 : 地元の方々のご意見発表
 - 第2部 : 会場参加者からご意見をお伺いする
- ・参加募集人数 : 200名程度

以上

市民参加懇談会in札幌で頂いたご意見の整理について

| 意見分類 | ご意見等 | 対応 |
|------------|---|--|
| 広聴・広報 | <p>原子力に関して、自らが判断出来るよう分かりやすい情報が必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力のメリット・デメリット(環境、電気料金への影響、潜在的な危険性など) ・専門用語を使わない分かりやすい情報 ・良い情報、悪い情報も隠さないことが重要 ・核燃料サイクル、世界における原子力開発の動向、原子力の安全性、必要性、利便性についての情報 <p>説明会、勉強会等を地方都市でもっと開催してほしい。 「原子力政策」と「国民・市民」の間の距離を縮めてほしい。</p> | <p>原子力の研究、開発及び利用に関しての国民や地域社会との相互理解を図る活動が必要であり、これらにより得られた意見等を踏まえて、広聴・広報や対話活動を進めてまいります。また、これらの活動が政府全体で継続的で、効果的かつ効率的に行われるようご意見を施策の実施する関係機関に伝えます。</p> |
| 原子力発電 | <p>資源小国、環境問題、安定・安価な電力供給等を考えると原子力の利用は妥当と考える。</p> <p>現状では原子力を選択するのは妥当だと考えるが、原油価格等の高騰などの情勢変化や再生可能エネルギーの開発状況により数値目標を見直すことが必要ではないか。</p> <p>原子力の比率は、リスク回避できる範囲が妥当であり、原子力とその役割を果たせない場合のバックアップも考えるべきでないか。</p> | <p>エネルギー安定供給や、地球温暖化対策等地球環境問題の改善のため、基幹電源である原子力発電をはじめとするエネルギー源について、国際的なエネルギー情勢も鑑み、最適なバランスとなるようなエネルギー供給のベストミックスを追求してまいります。</p> <p>また、これらの活動が政府全体で継続的、効果的かつ効率的に行われるよう、ご意見を施策を実施する関係機関に伝えます。</p> |
| 教育 | <p>原子力に対する見直しが世界中で進められる一方で、市民レベルで考えると、まだまだ理解が不足しており、イメージもよくなっていない。初等教育からしっかりと「エネルギー安定供給とは何か」を教える必要があるのではないか。</p> <p>今後のエネルギーの重要性を考えると、一般市民も自らの学習に基づき判断していくべきであり、判断ができるよう小学校からエネルギーについて教育すべきではないか。</p> <p>放射線に関する「教育」がなされていない。原子力を含め「教育」にどう組み込むかが大きな課題ではないか。</p> | <p>学習機会の整備・充実においては、国民の原子力とエネルギーに関する生涯学習の機会の多様化、充実への取り組み、放射線や原子力を含めたエネルギー問題に関する小・中・高等学校における指導の充実に取り組むことが重要と認識しており、これらの活動が政府全体で継続的で、効果的かつ効率的に行われるようご意見を施策の実施する関係機関に伝えます。</p> |
| 放射線利用 | <p>放射線の使用法、安全性を明示すべき。</p> <p>暮らしに放射線は広く活用されているのに、一般に認知されていないのではないか。放射線の利用状況をもっとPRすべき。</p> <p>放射能等の害がなくなるまで何百年も要すると聞いており、安全管理は大丈夫か。</p> <p>がん治療、食品への照射、など色々な利用がなされているが、人体や環境に何らかの影響がないのか。</p> <p>人体に影響を及ぼさない範囲で有効活用すべきでないか。</p> | <p>放射線は、産業・医療の現場で広く使用されており、その利用にあたっては法令等に基づき、放射能の強さに応じた安全管理がなされています。</p> <p>放射線利用に対する潜在的な不安感を解消するため、今後とも、放射線利用の技術情報や効用、安全性についての情報提供に努めてまいります。当会では、本年10月、食品照射に関する今後の取組の考え方をとりまとめ公表しました。今回のようなご意見を参考にしつつ、今後とも、放射線利用に係る情報提供に努めてまいります。</p> <p>また、これらの活動が政府全体で継続的、効果的かつ効率的に行われるよう、ご意見を施策を実施する関係機関に伝えます。</p> |
| 原子力委員会への意見 | <p>規制行政庁の行う安全規制活動の更なる監視、監査や、新たな知見に基づく諸指針等の見直しと、これらの国民への解りやすい広報活動をお願いしたい。</p> <p>原子力推進のため、より積極的な活動を期待。そもそも、一般市民には原子力委員会がどんな役割を担っているのか分かっている人が少ないのでは。機会を作りもっとPRすべきではないか。</p> | <p>原子力の安全規制や研究、開発及び利用については、定期的にその妥当性を評価するとともに、その結果について国民に十分説明していくことが重要であり、当会でも、原子力の研究、開発及び利用等に関する政策の妥当性を定期的に評価し、その結果を国民に説明するよう努めてまいります。</p> |